

しながわ元気フェスタ

主催 京急新馬場商店街振興組合
北品川商店街協同組合
日時 4月12日(土)、13日(日)
場所 京急新馬場商店街(サクセス通り)
旧東海道、虚空蔵尊養願寺周辺

パフォーマンス

猿まわしやマジックなどのパフォーマンスが、サクセス通りで行われました。

猿まわしでは、猿が大人ほどの高さの竹馬に乗り、子ども達からは拍手がいっぱい！また、パフォーマンスがバルーンアートで動物やピンクパンサーを作ったり、マジックなどで子ども達を楽しませていました。バルーンアートをもらった子ども達は大喜び！



おはやしが祭りを盛り上げる！！



忍者修行の旅

北浜公園では子ども達の忍者修行が行われ、130人ほどの子供たちが参加しました。

みんなで忍者頭巾をかぶり巻物を作ったら、忍者修行に出発！商店街に現れる大人忍者を探す、『修行の旅』に出ました。時には修行の邪魔をしてくるくせもの忍者と戦い、子ども達はみんな強い忍者に成長できたようです。

修行を終えた子どもには、免状ならぬお菓子券が配られ、みんなとても喜んでいました！



お面も作れたよー！



→変装して
いざ修行へ！

善哉のおもてなし

ぜんざい

13日(日)には、サクセス通りで15時から善哉が100食限定で無料配布されました。配布開始前にはすでに長蛇の列ができ、開始5分ですべて配り終わってしまうほどの大盛況！善哉をもらった方々は皆「おいしい！」と食べていました。

この演目の見所は、アメノウズメノミコトの優美な舞と、猿田彦神の荒々しい舞、二人の和合の舞という味わいが違う三種の舞です。観客はそれぞれの舞に様々な想いをはせ、心を奪われていました。

「天孫降臨」は、ニギノミコト(天照大御神の孫)天孫が、天照大御神の命により、乱れていた「葦原の中つ国」を治めるために天降(あまくだ)ったお話。ニギノミコトが天降る途中に立ちほだかる謎の神がおり、その正体を確かめるためにニギノミコトはアメノウズメノミコトを先に使わします。謎の神は「猿田彦(さるたひこ)」。猿田彦は天降るニギノミコトを案内するために待っていました。猿田彦の先導によりニギノミコトは無事高千穂に降り立つことができ、それをみて天照大御神は大喜びし、アメノウズメノミコトと猿田彦を夫婦にしました。

天孫降臨

平成26年3月9日(日)に、六行会ホールで「江戸里神楽を観る会」が開かれました。「江戸の里神楽」は、間宮社中によって二百余年にわたり伝承されているお神楽で、現在は39座(演目)が伝承されており、平成7年には国指定重要無形文化財に指定されています。

当日上演されたのは「天孫降臨(てんそんこうりん)」と「因幡之白兔(いなばのしろうさぎ)」の2座のほか、特別公演として品川神社太々神楽(東京都指定無形民俗文化財)も演じられました。

今回のような催し物は、普段は観ることの出来ない「江戸の里神楽」を観賞する貴重な場です。里神楽は誰もが知っている神話を舞で表現したもので、初めて観ても楽しめる内容になっています。次回は、11月15日にスクエア荏原で公演が予定されているので、足を運んでみてはいかがでしょうか。

因幡之白兔

「因幡之白兔(いなばのしろうさぎ)」は日本昔話でもなじみの深いお話。間宮社中では50年ぶりの上演でした。今回は、「八上姫(やがみひめ)」の段からの上演で、大国主命の兄弟である八十神(やそがみ)たちが八上姫に求婚するもことごとく振られてしまう姿を滑稽に演じました。それに引き続き本編の大国主命が、サメにけがを負わされて苦しんでいた白兔を助ける様子が演じられました。白兔はなかなかかわいらしかったですよ。



江戸里神楽を観る会

主催 間宮社中(八世間宮朝臣)

共催 品川区教育委員会